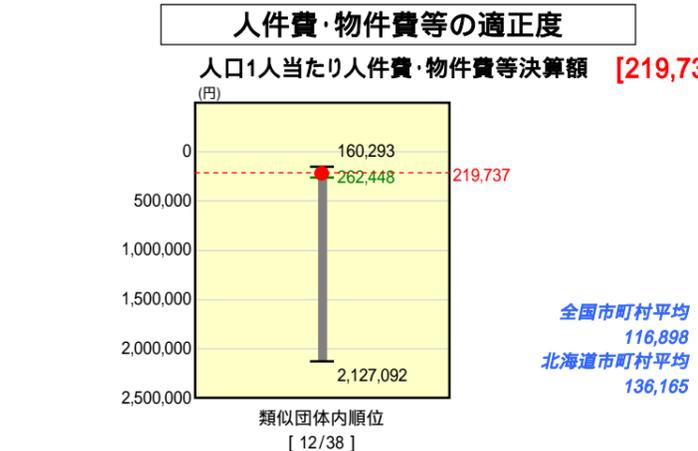
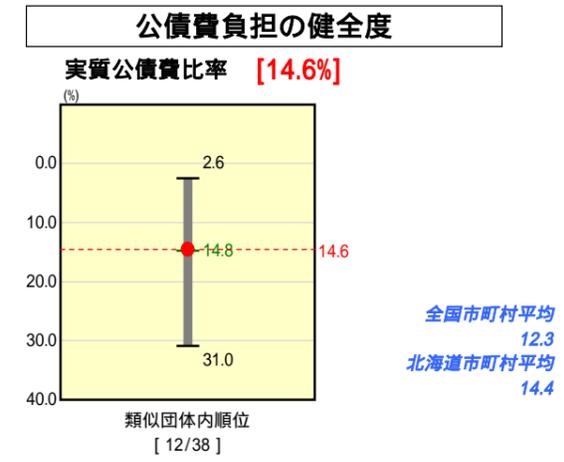
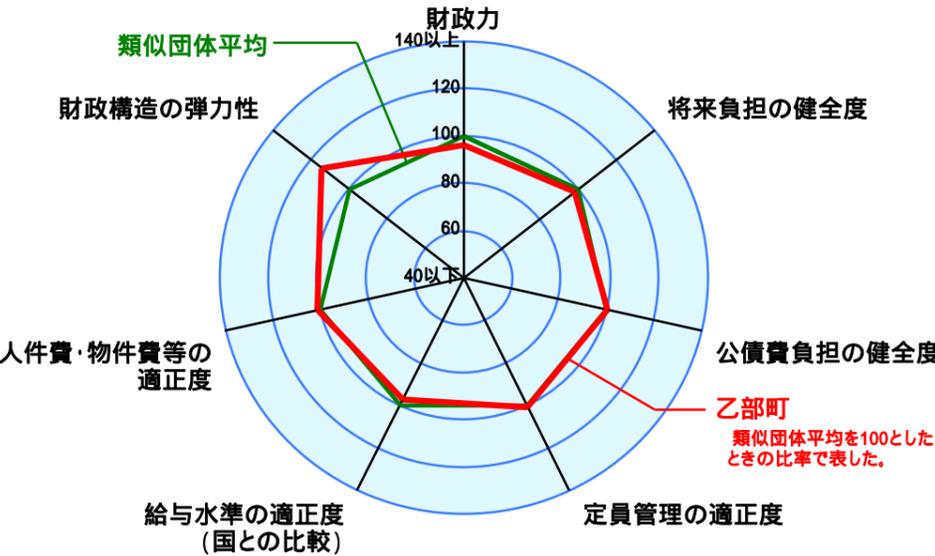
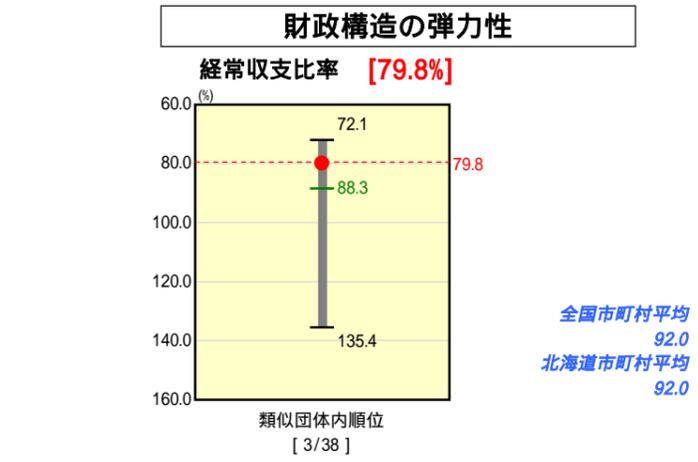
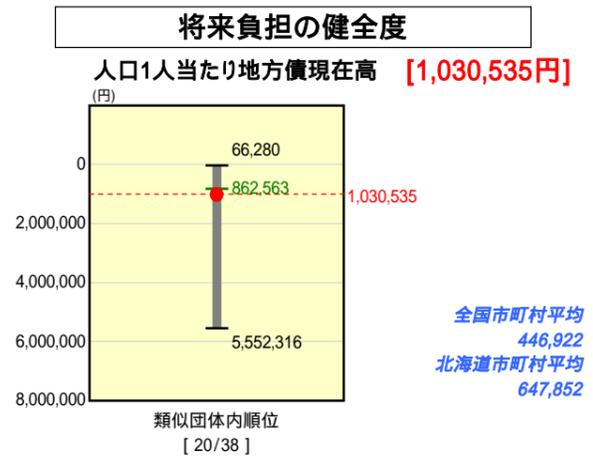
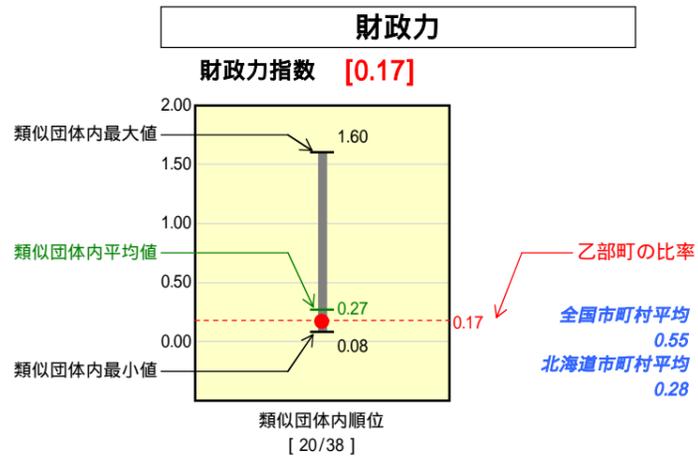


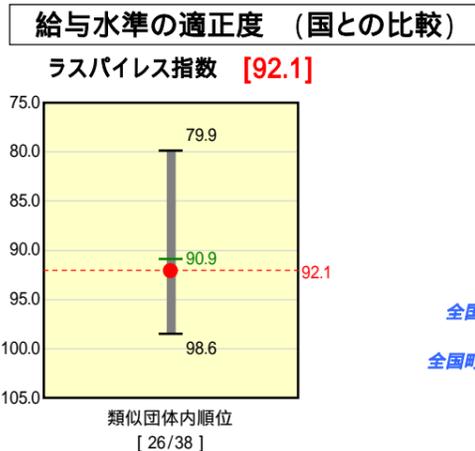
市町村財政比較分析表(平成19年度普通会計決算)

北海道 乙部町

人口	4,665 人	(H20.3.31現在)
面積	162.56 km ²	
歳入総額	3,263,054 千円	
歳出総額	3,175,037 千円	
実質収支	86,417 千円	



類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。
平成20年4月1日以降の市町村合併により消滅した団体で実質公債費比率を算定していない団体については、グラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。
ラスパイレス指数及び人口1,000人当たり職員数については、平成19年地方公務員給与実態調査に基づくものである。なお、平成19年度中に市町村合併を行った団体については、当該項目に係るデータのグラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。



分析欄

【財政力指数】
人口の減少や全国平均を上回る高齢化率(17年国調30%)に加え、町内に安定した収入を得る企業がないこと等により、財政基盤が弱く自主財源に乏しい財政構造であることから、類似団体平均を下回っている。このため、雇用の場の確保や農業・漁業の所得向上対策を進めるとともに、退職者の不補充、新規採用者の抑制、経常経費の削減などを行い、収入の確保と歳出削減に取り組む。
【経常収支比率】
退職者の不補充と新規採用者の抑制、職員給与の適正化による人件費の削減に早くから取り組んできていることから、類似団体を大幅に下回っている。しかし、ここ数年交付税改革等により上昇傾向にあることから、職員給与の見直しを始めとする経常経費の削減に努めている。現在、平成15年度に立ち上げた行財政改革推進本部会議を継続し、更なる行財政改革を進め、交付税の削減に耐え得る行財政運営を目指し歳入の確保と歳出の削減に取り組んでいる。
【人口1,000人当たり職員数】
過去からの新規採用抑制策により類似団体を下回っているが、健全財政の維持の観点から退職者の補充を最小限に止めITの活用等により行政サービスを維持しつつ、行政組織の見直しを行い、集中改革プランに基づき平成22年度までに8名の純減を図る計画している。

【実質公債費比率】
平成14年度から地方債の発行を抑制してきたことにより、類似団体を下回っている。現在、下水道事業及び簡易水道事業を進めていることから、これに係る地方債の発行により比率が上昇するものと思われる。
【人口1人当たり人件費・物件費等決算額】
類似団体平均と比較して人件費・物件費等の適正度が低くなっている要因は、消防業務やゴミ処理業務を一部事務組合で行っていることが挙げられる。特に職員給与と、議員定数の減による議員報酬が前年度に比較して減少している。
【ラスパイレス指数】
従来から給与水準は低い状態で推移してきており、全国平均を1.1%下回っている。今後とも給与の適正化に努めていく。
【人口1人当たり地方債現在高】
地方債現在高は年々減少しているが、人口の減少により類似団体を上回る結果となっている。道路事業などの基盤整備も終了したことから、今後は減少していくものと思われる。

人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。